

|     |                                                                                                                                                                    |                                                         |                                                          |                                                     |
|-----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 問1  | 九州地方に位置する阿蘇山や、北海道地方に位置する洞爺湖、屈斜路湖などに共通して見られる地形で、火山の噴火によって形成された大規模な窪地のことを何と呼びますか。 <small>（2026年 愛知県公立入試 類似）</small>                                                  |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. カルデラ                                                                                                                                                            | 2. 扇状地                                                  | 3. フィヨルド                                                 | 4. 三角州                                              |
| 問2  | 日本の冬の気候の特徴について、次の文の空欄にあてはまる語句の組み合わせとして正しいものはどれですか。「冬の日本海側では、大陸から（①）向きの季節風が吹き、日本海の上空を通過する際に（②）を蓄えることで、山地沿いを中心に大量の雪が降る。」 <small>（2019年 沖縄県公立入試 類似）</small>           |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. ①北西 ②湿った空気                                                                                                                                                      | 2. ①南東 ②湿った空気                                           | 3. ①南東 ②乾燥した空気                                           | 4. ①北西 ②乾燥した空気                                      |
| 問3  | 三陸海岸の沖合は、北からの親潮（千島海流）と南からの黒潮（日本海流）がぶつかることで世界有数の漁場となっている。このように寒流と暖流が接する海域で、多くの魚が集まる豊かな漁場が形成される主な理由はどれか。 <small>（2017年 北海道公立入試 類似）</small>                           |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 複雑に入り組んだリアス海岸が続<br>き、波が穏やかで養殖に適している<br>ため                                                                                                                       | 2. 潮目と呼ばれる海域ができ、魚の<br>餌となるプランクトンが多く発生す<br>るため           | 3. 大陸棚と呼ばれる浅く平らな海底<br>が広がり、日光が海底まで届くため                   | 4. 暖流によって運ばれた温かい海水<br>が滞留し、熱帯性の魚類が多く生息<br>するため      |
| 問4  | 日本の太平洋沿岸を北から南へ向かって流れる寒流で、東北地方の太平洋側に冷涼な空気をもたらし、夏に「やませ」と呼ばれる冷たい風が吹く際の原因の一つとなる海流の名称として適切なものを選びなさい。 <small>（2014年 愛媛県公立入試 類似）</small>                                  |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 日本海流（黒潮）                                                                                                                                                        | 2. 対馬海流                                                 | 3. リマン海流                                                 | 4. 千島海流（親潮）                                         |
| 問5  | 地形図の縮尺と実際の距離の関係について説明したものとして、最も適切な記述はどれですか。 <small>（2018年 大分県公立入試 類似）</small>                                                                                      |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 2万5千分の1の地形図では、図上<br>の1cmを500倍すると実際の距離に<br>なる。                                                                                                                   | 2. 2万5千分の1の地形図では、1km<br>の実際の距離は図上で4cmとして表<br>現される。      | 3. 5万分の1の地形図は、2万5千分<br>の1の地形図よりも、一定の範囲をよ<br>り詳しく表現できる。   | 4. 5万分の1の地形図において図上の<br>1cmが示す実際の距離は250mであ<br>る。     |
| 問6  | 地形図上の特定の二点を結ぶ直線に沿って、土地の起伏や標高の変化を横から見た形で表現したグラフを何といいますか。最も適切な名称を選択してください。 <small>（2017年 山口県公立入試 類似）</small>                                                         |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 等高線図                                                                                                                                                            | 2. 地形断面図                                                | 3. 階級区分図                                                 | 4. 鳥瞰図                                              |
| 問7  | 広島市の中心部を流れる太田川などの河口付近に見られる地形の成り立ちについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 <small>（2022年 静岡県公立入試 類似）</small>                                                                      |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. かつての海底や川底が地殻変動によ<br>って隆起し、周囲より一段高い平坦<br>な面が形成された。                                                                                                               | 2. 山地から平地に出る谷口付近にお<br>いて、砂利などが扇状に堆積して緩<br>やかな傾斜地が形成された。 | 3. 風によって運ばれた砂が、海岸や<br>乾燥地において積み重なり、丘のよ<br>うな地形が形成された。    | 4. 河川が運んできた土砂が、流速の<br>落ちる河口付近に堆積して平坦な土<br>地が形成された。  |
| 問8  | 冬の降水量が非常に多く、夏と冬の気候の変化がはっきりしている「日本海側の気候」の説明として正しいものはどれですか。 <small>（2023年 徳島県公立入試 類似）</small>                                                                        |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 1年を通じて雨が少なく、夏と冬<br>の気温差が小さい。                                                                                                                                    | 2. 冬は晴天の日が多く乾燥しており<br>、夏に降水量が集中する。                      | 3. 季節風の影響で冬に雪が多く、世<br>界でも有数の豪雪地帯が見られる。                   | 4. 標高が高いため夏でも涼しく、冬<br>の寒さが非常に厳しい。                   |
| 問9  | ある地域の地形図の読解において、土地利用と集落の状況を説明した文として最も適切なものはどれですか。なお、その地形図には「針葉樹林」「果樹園」「荒地」の記号が確認でき、家屋が特定の道路沿いに集中して並んでいるものとします。 <small>（2016年 長崎県公立入試 類似）</small>                   |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 針葉樹林や果樹園などの土地利用<br>が見られ、道路に沿って家屋が列状<br>に並ぶ集落が形成されている。                                                                                                           | 2. 広葉樹林や茶畑が斜面に広がり、<br>等高線の密度が高い急斜面に沿って<br>家屋が密集している。    | 3. 田や畑が広がり、灌漑用の溜池を<br>中心として家屋が円状に集まる集落<br>が形成されている。      | 4. 荒地や針葉樹林が見られるが、家<br>屋は広大な耕作地の中に一軒ずつ離<br>れて点在している。 |
| 問10 | 木曽川・長良川・揖斐川の下流域（濃尾平野）などのように、複数の河川が合流する標高の低い平地では、古くから洪水による水害が繰り返されてきました。このような地域において、人々の生活や田畑を守るために、周囲を堤防で囲んで作られた集落や地域の形態を何と呼びますか。 <small>（2021年 大分県公立入試 類似）</small> |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 干拓                                                                                                                                                              | 2. 輪中                                                   | 3. 扇状地                                                   | 4. 段々畑                                              |
| 問11 | 九州地方の阿蘇山周辺に見られる、大規模な火山の噴火によって地下のマグマが噴出した後、地表が陥没することによって形成された巨大な窪地を何と呼びますか。 <small>（2021年 新潟県公立入試 類似）</small>                                                       |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 三角州                                                                                                                                                             | 2. シラス台地                                                | 3. カルデラ                                                  | 4. 扇状地                                              |
| 問12 | 長野県などに見られる中央高地の雨温図に見られる、他の地域と比べた際の特徴として正しいものはどれですか。 <small>（2021年 北海道公立入試 類似）</small>                                                                              |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 冬の降水量が非常に多く、気温の<br>変化が小さい                                                                                                                                       | 2. 一年を通じて降水量が一定で、常<br>に温暖である                            | 3. 夏の降水量が突出して多く、冬も<br>気温が下がりにくい                          | 4. 年間の降水量が少なく、夏と冬の<br>気温差が大きい                       |
| 問13 | 東北地方の太平洋側に位置する三陸海岸の南部などに見られる、のこぎりの刃のように複雑に入り組んだ海岸地形を何と呼びますか。山地が沈み込んだり海面が上昇したりすることで、かつての谷に海水が入り込み、狭い湾や入り江が形成されたものを指します。 <small>（2021年 群馬県公立入試 類似）</small>           |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. カルスト地形                                                                                                                                                          | 2. リアス海岸                                                | 3. 砂浜海岸                                                  | 4. 干拓地                                              |
| 問14 | 地震発生時に液状化現象が起こりやすい地域の土地条件と、その仕組みについて説明した文として最も適切なものはどれですか。 <small>（2024年 島根県公立入試 類似）</small>                                                                       |                                                         |                                                          |                                                     |
|     | 1. 大規模な森林伐採が行われた場所<br>で、土壌の保水力が失われて地面が<br>流動化する。                                                                                                                   | 2. 硬い岩盤で構成された台地におい<br>て、地震のエネルギーが一点に集中<br>して地面が割れる。     | 3. 水分を多く含んだ砂質の埋め立て<br>地などで、振動により砂の粒子の結<br>合が崩れて地盤が軟弱化する。 | 4. 山間部の急傾斜地において、激し<br>い揺れによって表面の土砂が一度に<br>崩れ落ちる。    |

## 答え合わせ・解説

|     |                                                       |                                                                                                                                                                                                                              |
|-----|-------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 問1  | 答え 1<br>カルデラ                                          | 火山の噴火によって地下のマグマが噴出すると、その跡が空洞になり、山体が崩落することで大きな窪地（くぼち）が形成されます。これをカルデラと呼び、スペイン語で「鍋」を意味します。九州の阿蘇山は世界最大級の規模を誇るカルデラを持ち、その内部に多くの人々が居住している点が特徴です。また、北海道の洞爺湖や支笏湖、屈斜路湖はこの窪地に水が溜まってできたカルデラ湖です。                                          |
| 問2  | 答え 1<br>①北西 ②湿った空気                                    | 日本の冬に吹く特徴的な風は、北西の季節風です。この風はもともとシベリア大陸から吹き出す冷たく乾燥した風ですが、日本海を通過する際に海面からの蒸発によって水分を補給され、湿った空気へと変わります。これが日本の高い山々にぶつかることで上昇気流が起こり、日本海側に雪を降らせる原因となります。この季節風の向きと湿度の変化を理解することが、日本の気候区分を把握する上で重要です。                                    |
| 問3  | 答え 2<br>潮目と呼ばれる海域ができ、魚の餌となるプランクトンが多く発生するため            | 寒流と暖流がぶつかる海域は「潮目」と呼ばれ、海流が混ざり合うことで栄養分が豊富になり、魚の餌となるプランクトンが大量に発生します。これにより多くの魚が集まります。大陸棚についての記述は東シナ海などの特徴であり、リアス海岸は地形による養殖の利点の説明です。                                                                                              |
| 問4  | 答え 4<br>千島海流（親潮）                                      | 千島海流は、北太平洋の亜寒帯地域から千島列島に沿って南下してくる寒流です。魚類を育てるプランクトン（栄養分）を豊富に含んでいることから「親潮」とも呼ばれます。この海流は温度が低いため、その上を通る空気が冷やされ、東北地方の太平洋側に冷害をもたらす「やませ」や霧を発生させる要因となります。                                                                             |
| 問5  | 答え 2<br>2万5千分の1の地形図では、1kmの実際の距離は図上で4cmとして表現される。       | 2万5千分の1の地形図において、図上の1cmは実際の250mに相当します。実際の距離1km（1,000m）をこの地図上で表すと、 $1,000\text{m} \div 250\text{m} = 4\text{cm}$ となります。縮尺の数値が小さいほど、同じ範囲をより拡大して詳しく描くことができます。5万分の1の地形図の場合、1cmは実際の500mに相当するため、2万5千分の1の地形図の方がより詳細な情報を掲載するのに適しています。 |
| 問6  | 答え 2<br>地形断面図                                         | 地形図に描かれた等高線の数値を読み取り、縦軸に標高、横軸に距離をとってグラフ化することで、実際の土地の傾斜や起伏を視覚的に捉えることができます。等高線そのものを描いた地図や、上空から斜めに見下ろした鳥瞰図、統計データを色の濃淡で示した階級区分図とは、作成の目的や表現方法が異なります。                                                                               |
| 問7  | 答え 4<br>河川が運んできた土砂が、流速の落ちる河口付近に堆積して平坦な土地が形成された。       | 河口付近に形成される三角州は、河川の運搬作用によって運ばれた土砂が堆積することで作られます。選択肢にある「谷口付近に形成される傾斜地」は扇状地を指し、三角州よりも土砂の粒が大きく、水はけが良いという違いがあります。広島市の中心部は、複数の河川に分かれた河口の三角州上に発展した代表的な都市です。                                                                          |
| 問8  | 答え 3<br>季節風の影響で冬に雪が多く、世界でも有数の豪雪地帯が見られる。               | 日本海側の気候は、冬に吹く北西の季節風が水分を運んでくるため、冬に雪や雨が多いのが最大の特徴です。これに対し、太平洋側の気候では冬に乾燥した晴天が続き、瀬戸内の気候では年間を通じて降水量が少なくなります。秋田市など東北地方の日本海側も、この季節風の影響を強く受ける地域です。                                                                                    |
| 問9  | 答え 1<br>針葉樹林や果樹園などの土地利用が見られ、道路に沿って家屋が列状に並ぶ集落が形成されている。 | 地形図に記された地図記号から、その土地が針葉樹の森林や果樹園、あるいは利用されていない荒地であることを読み取ることができます。また、家屋が道路に沿って一列に並んでいる様子は、交通の利便性などを背景に成立した路村の特徴を示しています。広葉樹林（旗のような記号）や茶畑（点3つ）は、この地域の特徴としては示されていません。                                                              |
| 問10 | 答え 2<br>輪中                                            | 複数の大きな河川に挟まれた下流域は、標高が海面よりも低い「海拔ゼロメートル地帯」となることもあり、一度河川が増水すると甚大な浸水被害を受ける恐れがあります。そこで、自分たちの住む集落や大切な農地を水害から守る自衛手段として、周囲に堤防を張り巡らせる「輪中」という仕組みが発達しました。これは日本の防災の歴史を示す重要な地形的特徴です。                                                      |
| 問11 | 答え 3<br>カルデラ                                          | 火山の活動によって形成される地形で、大規模な噴火により地下に空洞ができ、そこが重みで沈み込む（陥没する）ことで広大な凹地となります。ポルトガル語で「鍋」を意味する言葉が語源です。阿蘇山のものは世界最大級の規模を誇り、窪地の中には平地が広がり、多くの人々が生活したり、鉄道が通ったりしています。                                                                           |
| 問12 | 答え 4<br>年間の降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きい                        | 中央高地は周囲を高い山々に囲まれているため、海からの湿った空気が入り込みにくく、年間降水量が少なくなります。また、内陸に位置することから海の影響を受けにくいため、夏は暑く冬は冷え込みが激しくなり、気温の年較差が大きくなります。                                                                                                            |
| 問13 | 答え 2<br>リアス海岸                                         | もともと起伏の激しい山地があった場所で、谷の部分に海水が入り込むことで形成される地形です。三陸海岸のほか、福井県の若狭湾周辺や三重県の志摩半島などにも見られます。名称はスペイン北西部のガラシア地方にある「リア（入り江）」が連なる海岸に由来しています。                                                                                                |
| 問14 | 答え 3<br>水分を多く含んだ砂質の埋め立て地などで、振動により砂の粒子の結合が崩れて地盤が軟弱化する。 | 液状化は、特に沿岸部の埋め立て地やかつての河川敷など、水と砂が多い場所で発生しやすいのが特徴です。地震の衝撃で砂の粒子の隙間にあった水が押し出され、地面全体が液体のような挙動を示すようになります。これにより、本来は強固だったはずの地盤が支える力を失い、建物の倒壊やライフラインの寸断を引き起こします。                                                                       |